

## 松鵬祭(体育祭)

～ 3年ぶりの「一日開催」の体育祭、大いに盛り上がりました ～



9月4日(日)、松鵬祭(体育祭)が「一団和気」というテーマで開催されました。本校の体育祭は、コロナ禍の影響で一昨年が競技を精選して午前中のみ開催、昨年在中止(松高フェスタのみ別日に実施)となっていました。本年度は3年ぶりに午前・午後を通して全17種目を実施する形で開催しました。当日は好天に恵まれ、生徒たちは夏休み前から取り組んできた練習の成果をいかに発揮し、体育祭を大いに盛り上げました。

最後まで手に汗握る総合優勝争いを制したのはBブロック(青 3-3, 2-1, 1-3)で、松高フェスタ(3年生によるブロック対抗パフォーマンス合戦)最優秀賞との2冠を達成しました。ブロック旗の最優秀賞にはCブロック(緑 3-1・2, 2-3, 1-2)が輝きました。



【体育祭実行委員長 & 各ブロック長より】 ～ 来年は今年以上の体育祭ができるよう、頑張ってください ～

〔体育祭実行委員長 西田 翔 さん(3年 調川中学校出身)〕

2年ぶりに体育祭ができて、とても楽しい一日でした。来年もその次の年も、楽しい体育祭ができるように祈っています。

〔副Aブロック(赤)長 廣 将矢 さん(3年 志佐中学校出身)〕

台風が接近していましたが、奇跡的に晴れて体育祭ができたことが何よりもよかったです。できることなら月に一回くらい体育祭をしたいと思うくらい、楽しい一日となりました。

〔Bブロック(青)長 本山 響希 さん(3年 志佐中学校出身)〕

コロナや台風の心配がある中、一日中体育祭をできたことにとっても感謝しています。ブロック全体をまとめるのは大変でしたが、Bブロック長をすることができて、本当によかったです。1・2年生の皆さん、来年は今年以上の体育祭ができるよう、頑張ってください。

〔Cブロック(緑)長 佐藤 愛菜 さん(3年 志佐中学校出身)〕

3年ぶりの「一日開催」となった体育祭を生徒全員で盛り上げることができ、とても思い出に残る体育祭になりました。1・2年生には、来年の体育祭をもっと盛り上げて、松高の伝統を受け継いでもらいたいと思います。



▲左から順に、廣さん(Aブロック)、西田さん(実行委員長)、本山さん(Bブロック)、佐藤さん(Cブロック)

## 就職試験受験者出陣式

～ 30名の3年生、内定を目指していざ出陣！～



就職試験の解禁日(9月16日)を翌日に控えた9月15日(木)、就職試験受験者出陣式を開催し、採用試験に挑む3年生30名と商業科の2年生26名が参加しました。学校長・3学年主任の挨拶の後、2年生代表の戸山桐輝さん(調川中学校出身)が「先輩方が日々努力されている姿は、私たち後輩の目にも焼き付いています。先輩方が皆、就職内定を成し遂げられるよう、後輩一同応援しています」と激励の言葉を述べました。そして最後に、3年生

を代表して浜田真衣さん(志佐中学校出身)が「就職試験に向けて、私たちに熱心に指導して下さった先生方への感謝の気持ちを忘れず、自分にできることを精一杯行い、悔いが残らないように頑張りたいと思います。皆さんも悔いが残らないよう、全力を尽くしてください」と受験への意気込みを語るとともに、受験に臨む仲間に向けて熱いエールを送りました。

## 10月のおもな行事

注1) ①は1年、②は2年、③は3年 注2) 10/5・10/6・10/12・10/13は40分、10/7は45分授業

3日(月)	第3回定期考査(～4日)	15日(土)	松鵬祭(文化祭)(松浦市文化会館)
4日(火)	容儀検査		平戸・松浦・北松地区PTA研修会
5日(水)	①②③補習再開、吉井中説明会	16日(日)	松鵬祭(文化祭)(本校)
	松鵬祭前短縮授業(～13日)		オープンスクールⅡ
	全校朝会(後期役員任命式)	17日(月)	振替休日(16日分)
	文化祭実行委員会	18日(火)	第4回定例専門委員会
	マラソン大会事前健康診断		①②早朝補習再開
6日(木)	③共通テスト100日前集会	20日(木)	人権同和教育
7日(金)	第2回英検(1次)、鷹島中説明会	22日(土)	③土曜補習
8日(土)	①②土曜補習、③進研模試(～9日)	27日(木)	駅伝壮行会
11日(火)	振替休日(15日分)		学校訪問(長野県蘇南高校)
12日(水)	①②早朝補習中断	29日(土)	①②土曜補習
13日(木)	芸術鑑賞会		③進研マーク模試(～30日)
14日(金)	文化祭りハーサル、会場設営		ウィンターカップ県予選
	調川中説明会		(本校を会場として使用)

## 「縁について2つの話」

校長 舟越 裕

いい出会いや縁は、自分の視野を広げ人生を豊かにしてくれますし、時には道標となります。

1つめの話。4月に地域科学科を設置して以来、地元の新聞社だけでなく、教育系雑誌やテレビの取材、他県からの学校訪問が相次いでいます。そして10月4日(火)には、NIB(長崎国際テレビ)の「News Every」(18:15ごろからの長崎ローカル)にて本校が取り上げられます(これは宣伝です)。この取材で来校された担当者が、私が師と仰ぐ先輩のご子息でした。ご子息と話をする中で、なぜか師の顔が浮かんできて「舟越さん、ちゃんとやいよっとか」という先輩の叱咤する声が思い出されました。

2つ目の話。私が最初に赴任した学校の校長先生が、先月逝去されました。赴任の挨拶で3月末にその高校を訪問した際の言葉が衝撃的で、今でも私の教員の軸となっています。「舟越さん、あんたが教える生徒はね、22世紀を生きるとばい」まだ20世紀の1995年3月のことでした。当時は気づきませんでしたが、予測困難な社会を生き抜く力を身に付けさせるという、大きな課題を与えられていたのだと思います。

9月から就職試験が始まり、3年生は合格を勝ち取るべく頑張っています。この先、いい出会いやいい縁にめぐり合うことを願うばかりです。



松高  
YouTube



松高  
ホームページ



松高  
Instagram

